

第3回 コンクリート技術大会

日本コンクリート製品フォーラム 2013 と併催

放射能対策、震災の復旧・復興、防災・減災に貢献するコンクリート技術

東日本大震災の発生から約半年後の2011年10月福島県会津若松市にて「東日本大震災の復旧・復興に貢献するコンクリート技術」をキャッチコピーとしてコンクリート技術大会を緊急開催いたしました。

今回は、昨年仙台にて開催した第2回大会に引き続き、郡山において第3回大会を開催することと致しました。テーマは「放射能対策、震災の復旧・復興、防災・減災に貢献するコンクリート技術」とし、以下の要領にて開催いたします。

本大会は、コンクリート技術に関する情報収集および発信、ならびに実務者の交流の場としてよい機会になると思います。ふるってご参加下さいますようご案内申し上げます。



日時:2013年10月31日(木)・11月1日(金)

場所:ホテルハマツ

福島県郡山市虎丸町 3-18 TEL.024-935-1111

(JR郡山駅西口より車で約5分、徒歩約20分)

大会参加費:5,000円(CD-ROM 論文集、参加証を含む)

懇親会費:7,000円

※見学会とJPCF 経営者情報交換会は別途オプション

主催:日本大学工学部、日本コンクリート技術株式会社、日本コンクリート製品フォーラム

協賛:(株)セメント新聞社、プレストレストコンクリート工学会、新世代PCa工業会

パネル展示:愛知製鋼(株)、宇部三菱セメント(株)、エスビック(株)、MLウォール研究会、花王(株)、光洋機械産業(株)、新貝工業(株)、全国ゴールコン協会、全国ボックスウォール協会、(株)タイガーマシン製作所/(株)チヨダマシンナリー、太平洋セメント(株)、太平洋マテリアル(株)、(株)ダイクレ、(株)日栄商事、日本シーカ(株)、(株)フローロック、前田工織(株)

10月31日(木)	9:30	受付	材料、機械、工法に関する最新技術や情報の活用 パネル展示	
	10:00	基調講演会 開会挨拶/長瀧重義(東京工業大学名誉教授) ロハスの工学をめざして/出村克宣(日本大学工学部学部長) 環境研究からのコンクリート技術への期待~放射線汚染廃棄物問題との関連~/大迫政浩(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長) 県土復興に向けた福島県土木部の取り組み/杉明彦氏(福島県土木部企画課長)		
	12:00	休憩		休憩
	12:30			JPCF 経営者情報交換会「ここだけの話をしよう。」 12:30~ 挨拶/趣旨説明 12:40~ 特別講演:成熟化社会におけるコンクリートの役割/阪田憲次(岡山大学名誉教授) 13:20~ いくつかの話題提供とテーブルセッション (オプション:3,000円、軽食・飲み物付)
	13:30	技術講演会(論文・報告 33編) 放射能関連、復興コンクリート、防災・減災技術、合理化施工ほか(論文リストは裏面参照)		
	16:40	休憩		
	17:00	特別講演会 ハンサムウーマン 新島八重と会津精神/野口信一(元会津若松市立会津図書館館長)		
18:00	休憩			
18:15	グランドレセプション(大懇親会)			
11月1日(金)	9:30	復興コンクリート・パネルディスカッション~復興インフラの長寿命化をめざして~ コーディネーター:岩城一郎(日本大学) 登壇者:石田哲也(東京大学)、細田暁(横浜国立大学)、佐藤和徳(国土交通省東北地方整備局)、二宮純(山口県)、田中直樹(NEXCO 東日本東北支社)、久田真(東北大学)、丸屋剛(大成建設)、新田裕之(東栄コンクリート工業)、野中賢氏(日経コンストラクション)	パネル展示	
	12:00	見学会(オプション:6,000円、裏面参照)		

【問い合わせ先】 全般:日本コンクリート技術(株) TEL. 03-5669-6651 FAX.03-3632-2970 Mail:yoshioka@jc-tech.co.jp (担当:吉岡)

JPCF 経営者情報交換会:日本コンクリート製品フォーラム TEL. 03-3438-8700 FAX. 03-3438-8700 Mail:jpcf.info@gmail.com

参加申し込みの方法

- ・参加を希望される方は、10月11日までにお申し込みをお願いいたします。(当日受付もありますが、できるだけ事前申込をお願いします)
- ・別紙「参加申込書」の枠内に必要事項をご記入のうえ、FAXあるいはEメールにてお申し込みください。参加申込書は、<http://www.jc-tech.co.jp/> からダウンロードできます。
- ・その上で、参加申込書記載の振込先に参加費をお振込みください。振込手数料は申し込み者にてご負担願います。
- ・講演会参加費(5,000円)には「CD-ROM版論文集」の費用を含んでいます。
- ・大会参加証、懇親会参加証(参加希望者のみ)、論文集(CD-ROM版)の送付は10月15日頃からを予定しています。10月12日以降のお申し込みの場合は会場にて受付時にお渡しします。
- ・JPCF 経営者情報交換会は大会のオプションですので、それだけの参加はできません。

<見学会>

11月1日(金)12:00 ホテル出発

Aコース：会津地方土木遺産等視察 猪苗代経由→13:30 十六橋水門(土木遺産)→15:00 東京電力猪苗代第一発電所(大正時代建築物、設備機械等見学)→16:30 東京電力猪苗代第二発電所(大正時代煉瓦施設)→17:30 会津若松駅着
(大型バス2台、定員80名)

Bコース：浜通り被災地視察 飯館村経由→14:00 南相馬→常磐道建設現場→浪江町→18:00 仙台空港→18:30JR 仙台駅→20:30 郡山駅着
(マイクロバス2台、定員60名)

※どちらも事前登録制(参加申込書にご記入ください)、オプション費用：6,000円(バス代、昼食代含む)

論文リスト

【放射能関連】13:30~16:40 座長 栗田守朗(清水建設)・内藤英晴(五洋建設)

1. 放射性核種のコンクリートへの浸透
木下哲一(清水建設)、大石晃嗣(清水建設)、横山明彦(金沢大学)、末木啓介(筑波大学)
2. 放射能汚染灰体積線源を用いた超高密度モルタルの線遮蔽性能評価
鈴木裕介(東北大学)、藤倉裕介(フジタ)、木村健一(フジタ)、SanjayPAREEK(日本大学)、荒木慶一(京都大学)
3. 放射能汚染灰及び電解水素水を用いたモルタル供試体の放射線量変化に関する基礎的研究
木村健一(フジタ)、鈴木裕介(東北大学)、SanjayPAREEK(日本大学)、荒木慶一(京都大学)、藤倉裕介(フジタ)
4. 汚染廃棄物最終処分場用コンクリートで考慮すべき性能
山田一夫(国立環境研究所)、大迫政浩(国立環境研究所)、長瀬重義(東京工業大学・名誉教授)
5. 都市ごみ焼却灰の潮解の可能性と効率劣化 Cs 溶出抑制
市川恒樹(国立環境研究所)、山田一夫(国立環境研究所)、大迫政浩(国立環境研究所)
6. 放射能に汚染され塩分を含有するコンクリートからの封じ込め要素試験
清宮理(早稲田大学)、佐野清史(東洋建設)、内藤英晴(五洋建設)、羽淵貴士(東亜建設工業)
7. 焼却灰の減容化と放射性セシウムの除去
内田修司(福島工業高等専門学校)、大城優(カサイ)、羽切正英(福島工業高等専門学校)、押手茂克(福島工業高等専門学校)、小林高臣(長岡技術科学大学)
8. セメント水和生成物によるセシウム、塩化物イオン及び六価クロムの固定
羽原俊祐(若手大学)、小山田哲也(若手大学)、山崎裕孝(太平洋セメント)、橋本敦美(電源開発)
9. いわき地先海岸の砂に吸着した放射性セシウムの挙動
原田正光(福島工業高等専門学校)、橋本孝一(いわき地域環境科学会)、中西恒雄(いわき環境研究室)
10. 放射線物質を含む汚染土壌処理システム及び焼却灰洗浄減容化システム
佐藤敦政(アース)、豊原治彦(京都大学)
11. 放射線物質及び塩分捕捉能に優れた新規固化剤の研究
豊原治彦(京都大学)、佐藤敦政(アース)

7. 高炉スラグを使用した高耐久コンクリート
JariyathitipongPaweena(ランダス)、藤木昭宏(ランダス)、細谷多慶(ランダス)、藤井隆史(岡山大学)、綾野克紀(岡山大学)
8. 災害廃棄物を有効活用するPCaコンクリート製品のLCA
藤木昭宏(ランダス)、竹田真梨子(ランダス)、松岡智(ランダス)、細谷多慶(ランダス)、古森義明(ランダス)
9. 環境配慮型地盤注入材料の配合探索とその性質
岡本享久(立命館大学)、小野亮(立命館大学)、吉田高明(立命館大学)、明石知樹(立命館大学)、中川隆一(立命館大学)
10. 電子線グラフト重合技術により保水性を付与した湿潤養生マットによるコンクリート鉛直面の品質確保
田中亮一(東亜建設工業)、堀本歴(倉敷紡績)、福手勤(東洋大学)、羽淵貴士(東亜建設工業)
11. 水中不分散性鉄鋼スラグ水和固化体の実構造物への適用
保木本智志(五洋建設)、菅野浩樹(新日鉄住金)、高野良広(新日鉄住金)、山越陽介(新日鉄住金)、澤田巧(五洋建設)

【減災・防災・維持管理、合理化施工】13:30~16:40 座長 竹田宣典(大林組)・羽淵貴士(東亜建設工業)

1. 後施工プレート定着型せん断補強鉄筋を用いたディーブピームの補強効果に関する検討
河村圭亮(大成建設)、福浦尚之(大成建設)、岡本晋(成和リニューアールワークス)、新藤竹文(大成建設)
2. 重量骨材を用いたコンクリートの耐久性
肥後康秀(太平洋セメント)、野崎隆人(太平洋セメント)、杉山彰徳(太平洋セメント)、田中敏嗣(太平洋セメント)
3. 道路橋の経年劣化と東日本大震災による損傷との関連性
高橋明彦(陸奥テックコンサルタント)、子田康弘(日本大学)、岩城一郎(日本大学)
4. RFID 腐食環境検知システムを用いた予防保全への適用事例
江里口玲(太平洋セメント)、佐藤達三(太平洋セメント)、多田克彦(太平洋セメント)、肥後康秀(太平洋セメント)
5. 被害調査と流体解析にもとづく橋梁に作用する津波波力の検討
田中泰司(長岡技術科学大学)、監物希美(長岡技術科学大学)、渡邊政博(長岡技術科学大学)、丸山久一(長岡技術科学大学)
6. 東松島市に残る近代土木遺産 - 野蒜築港遺構群の硬化モルタルの評価
沢木大介(太平洋コンサルタンツ)、広野真一(太平洋コンサルタンツ)、安藤陽子(太平洋コンサルタンツ)
7. 東北地方自治体の橋梁の現状と課題
水城享(東北大学)、小早川正樹(東北大学)、山口恭平(東北大学)、鎌田貢(東京大学)、久田真(東北大学)
8. 凍結防止剤散布下における内在塩がコンクリートの耐凍害性に及ぼす影響
佐久間正明(日本大学)、子田康弘(日本大学)、岩城一郎(日本大学)
9. コンクリート打込み状況の連続検知、ビジュアル化手法の開発
藤倉裕介(フジタ)、小幡克実(フジタ)
10. コンクリート施工状況把握チェックシートと表層品質目視評価手法のタブレット端末化について
井林康(長岡工業高等専門学校)、細田暁(横浜国立大学)
11. 極細径ステンレス鉄筋で補強した高耐久性埋設型枠に実用化について
河野一徳(日本コンクリート技術)、篠田佳男(日本コンクリート技術)、清宮理(早稲田大学)

問い合わせ先] 全般：日本コンクリート技術(株) TEL. 03-5669-6651 FAX.03-3632-2970 Mail:yoshioka@jc-tech.co.jp (担当：吉岡)

JPCF 経営者情報交換会：日本コンクリート製品フォーラム TEL. 03-3438-8700 FAX. 03-3438-8700 Mail:jpcf.info@gmail.com